

2026 年 6 月 26 日
中国電力株式会社
島根原子力発電所

島根原子力発電所 2 号機主変圧器冷却ファン中継端子台における火災について

1. 事象確認日時

2026 年 2 月 7 日（土） 20 時 05 分

2. 事象発生場所

2 号機タービン建物北側 主変圧器ヤード（管理区域外）＜添付資料（1）参照＞

3. 発生状況

2026 年 2 月 7 日（土）20 時 05 分、中央制御室において「主変圧器」警報（2-907）が発報、主変圧器冷却制御盤において「分岐 NFB トリップ」警報（2-2281）が発報し、2 号機タービン建物北側主変圧器ヤードにて主変圧器 No. 3 冷却ファン下部の端子箱内のサーマルリレーの中継端子台に焦げ跡があることを当社社員が確認したため、同日の 20 時 38 分に松江市消防本部へ通報した。＜添付資料（2）参照＞

同日の 22 時 05 分に松江市消防本部による現場確認の結果、「火災」と判断された。

4. 時系列

20 時 05 分 「主変圧器」警報（2-907）発報および「分岐 NFB トリップ」が発生した。
（警報発報により NFB がトリップした時間を鎮火と判断）

20 時 14 分 運転員は当該 NFB “切” 操作し、警報をクリアした。

20 時 24 分 No. 4 冷却ファンを起動した。

20 時 25 分 運転員は 2 号機タービン建物北側主変圧器ヤードにて冷却ファン下部の端子箱内のサーマルリレーの中継端子台に焦げ跡および臭気を確認した。

20 時 38 分 当直長は松江市消防本部へ連絡した。

20 時 50 分 当直長は消防チームへ連絡した。

20 時 53 分 当直長は防護本部へ連絡した。

20 時 55 分 当直長は連絡責任者へ連絡した。

21 時 10 分 松江市消防本部が発電所に到着した。

21 時 55 分 松江市消防本部が北口ゲートを通過（周辺防護区域入域）

22 時 05 分 松江市消防本部が現場にて「火災」と判断した。

5. 事象発生時の現場状況等

(1) 冷却ファンの使用状況

- 冷却ファン 3 台を 1 系統とした 9 系統のうち 8 系統を常時運転し、1 カ月毎に予備系統（残りの 1 系統）と切り替えている。
- 火災が発生した No. 3 系統は 2026 年 1 月 17 日から起動しており、火災発生後は速やかに予備の No. 4 系統を起動し、8 系統運転を行っており、変圧器の運転に影響はない。

(2) サーマルリレーの作業および点検状況

- 火災発生当時、主変圧器周辺で作業は実施していない。
- No. 3 系統以外の冷却ファンおよびサーマルリレーには異常等は確認されていない。
- 冷却ファンおよびサーマルリレーの点検は、1 サイクルに 1 回の頻度で実施しており、これまでの点検においてもサーマルリレーの不良や端子ねじのゆるみ等は確認されておらず、No. 3 系統の冷却ファンにも異常は見られていない。
- サーマルリレーの至近の取替は、2006 年 1 月に実施している。

6. 現品の調査結果

(1) サーマルリレーの調査結果 <添付資料（3）参照>

2026 年 3 月 6 日に松江市北消防署北部分署、当社およびメーカーによるサーマルリレーの合同現品調査を行った。主な確認結果は以下のとおり。

- No. 2 の端子ねじの過熱による溶融変色が著しく、内部の回路に溶断を確認した。
なお、当該回路は定格電流最大値の 13 倍の電流で溶断する設計である。
- No. 2 の端子周辺には錆の付着以外にも白い異物の付着が見られた。
後日、白い異物の成分分析を実施し、海水に含まれる炭酸塩が検出されたことを確認した。
- 松江市北消防署北部分署による検証試験として、調査品の端子間に塩水を散布し 100V の電圧を印加したところ、トラッキング現象（※）が発生することを確認した。

（※）水分や湿気を含んだ不純物を通じ電流が流れることで火花放電が発生する現象

(2) 端子箱の調査結果 <添付資料(4) 参照>

6. (1) の調査結果を受け、端子箱内に水分が流入した可能性があることから、その流入経路を特定するため、2026 年 3 月 17 日に松江市北消防署北部分署と当社による端子箱への雨水流入の検証を行った。主な確認結果は以下のとおり。

- 冷却ファンを取り外した状態で冷却器扇箱内の確認を行ったところ、端子箱天板付近に腐食を確認した。
- 端子箱上部から散水すると、端子箱内へ水が流入することを確認した。
- 端子箱天板付近の腐食部にわずかな腐食孔を確認した。

7. 推定原因

6. 現品の調査結果から、事象発生当時は雪や雨が降っていたことで端子箱天板付近の腐食孔から塩分を含む水分が端子箱内へ流入し、サーマルリレーの中継端子台に付着したことにより、トラッキング現象が起き、短絡に至ったものと推定した。

<添付資料(5) 参照>

また、松江市消防本部の出火原因についての見解としても、端子箱内に海水を含む水分が侵入し、サーマルリレーの端子周辺に付着して、トラッキングが発生し火災に至ったものと推定されている。<添付資料(6) 参照>

火災に至った要因は、水分の流入経路となった「端子箱天板部の腐食」であり、腐食の進行を防げなかった要因として「点検部位の明確化不足」および「発錆確認時の対応不足」と推定した。

(1) 端子箱天板部の腐食

当該端子箱については、1 サイクルに 1 回の頻度で、端子箱内部の確認に加え、冷却器外観点検にて汚損、損傷の無いことを確認していたが、今回腐食孔が確認された箇所は、冷却ファンを取り外さないと腐食状況の確認ができない位置にあったことで、腐食の進行に気づくことができず、腐食孔に至り、水分が流入する経路となったと推定した。

(2) 点検部位の明確化不足

冷却ファンを取り外さないと腐食状況の確認ができない位置を点検対象とすることが標準工事仕様書に明記されておらず、これまでの点検方法では端子箱天板付近の腐食状況の確認ができなかったものと推定した。

(3) 発錆確認時の対応不足

当該端子箱のような屋外設備において水分の流入が懸念される発錆を確認した場合に、周辺部の腐食進行を疑い、詳細な腐食状況を確認するための判断基準や着眼点が点検要領等に明確に定められておらず、発錆箇所周辺の腐食状況を詳細に確認する仕組みが十分ではなかった。

8. 再発防止対策

(1) 端子箱天板部の補修

No.3 系統以外の系統についても、冷却ファンを取り外した状態で端子箱天板およびその付近の腐食状況を確認したところ、複数の系統で同様の腐食が認められたことから、9 系統すべての端子箱天板部について防水性および耐食性のある F R P (繊維強化プラスチック) シートを用いて補修した。

(2) 点検部位の明確化

端子箱の外観点検の内容について充実を図り、端子箱内部の確認に加え、冷却ファンを取り外し端子箱天板付近の外観点検を実施することで、腐食・汚損の有無等について確認することを標準工事仕様書に明示した。＜添付資料(7) 参照＞

なお、改訂した標準工事仕様書の内容については、本事例と合わせて関係者に周知・徹底し、確実な点検を実施する。

(3) 発錆確認時の対応の明確化および教育の実施

屋外に設置された電気盤、制御盤および端子箱について、外観点検において水分の流入が懸念される発錆を確認した場合には、当該箇所周辺の腐食進行を疑い、必要に応じて機器の取外し等による詳細な腐食状況の確認を実施することを発注仕様書等に明記する。

また、本事例を活用した教育を実施し、発錆を確認した際の着眼点および詳細確認の必要性について関係者へ周知・徹底する。

9. 水平展開

(1) 対象抽出の考え方

電気盤、制御盤および端子箱は、これまでも内側と外側からの外観点検や貫通部処理により、雨水の影響を受けないよう維持管理しており、雨水の流入が懸念されるような腐食に対しても必要な対応をしてきているが、今回の事象と同様に機器を取り外さないと腐食状況の確認ができない箇所については、同様に腐食孔が生じる可能性を否定できない。そこで、雨水に直接さらされる環境である屋外に施設する電気盤、制御盤および

端子箱について、構造上機器を取り外さないと外観点検ができない箇所があるものを対象として抽出し、機器を取り外したうえで外観点検を実施するよう、発注仕様書等において明示する。＜添付資料（８）参照＞

（２）確認結果

９．（１）の考え方により、対応が必要となる機器を下表に整理する。

機器名称	現状の状況	水平展開内容	期限
３号機 主変圧器	端子箱内部に 異常なし	冷却ファンを取り外し端子箱の外観 点検を実施するよう明示する。	次回変圧器 点検まで
３号機 所内変圧器	端子箱内部に 異常なし	同上	同上
３号機 補助変圧器	端子箱内部に 異常なし	同上	同上

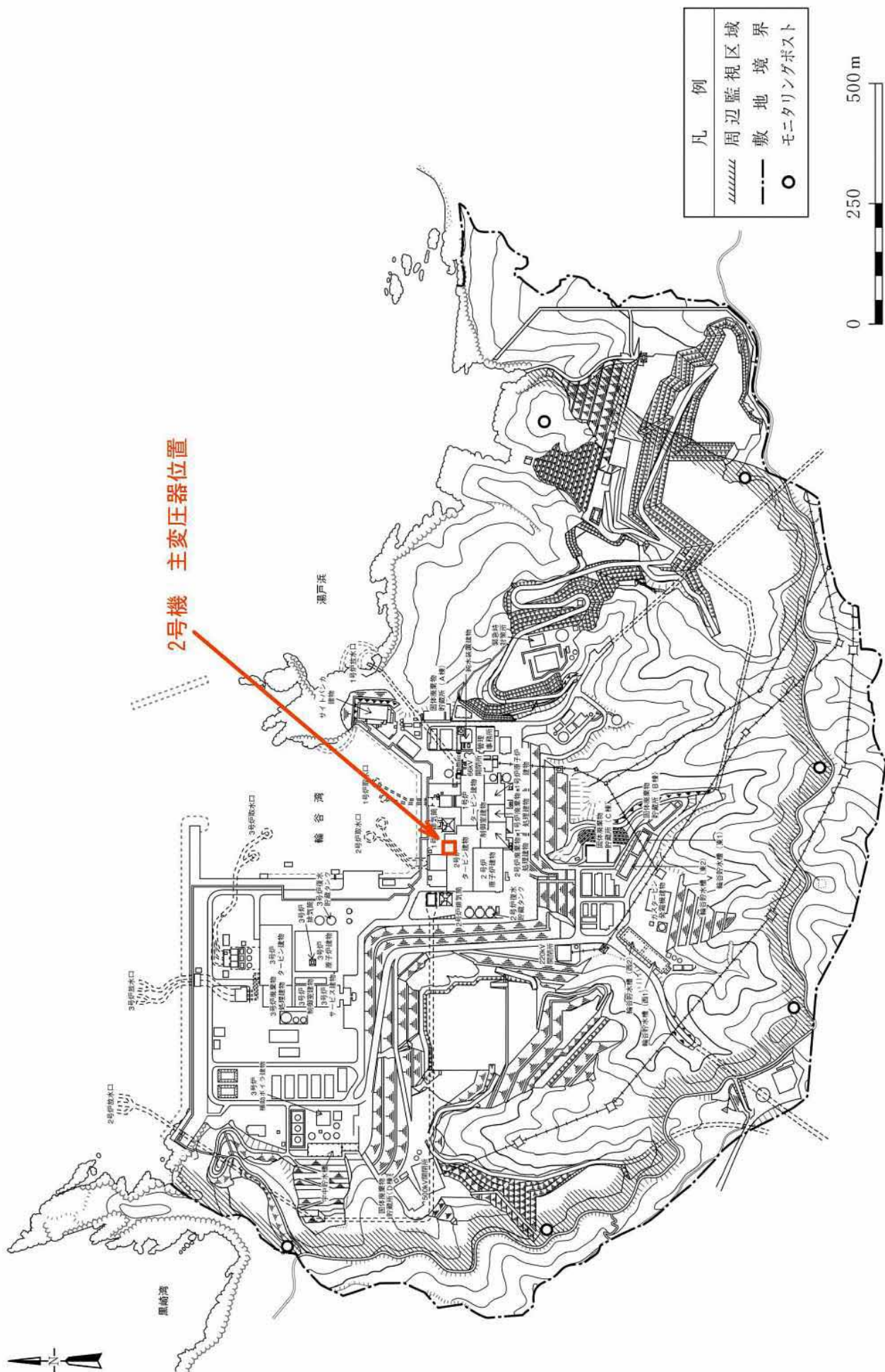
なお、２号機主変圧器と同様の屋外大容量変圧器については以下のとおりであり、追加の対応は不要である。

- １号機起動変圧器、予備変圧器（共用）および第２予備変圧器（共用）
冷却ファンがなく、同様の端子箱がない。
- ２号機所内変圧器および２号機起動変圧器
冷却ファンはあるが、取り外しする必要なく端子箱天板付近の点検が可能である。

１０．添付資料

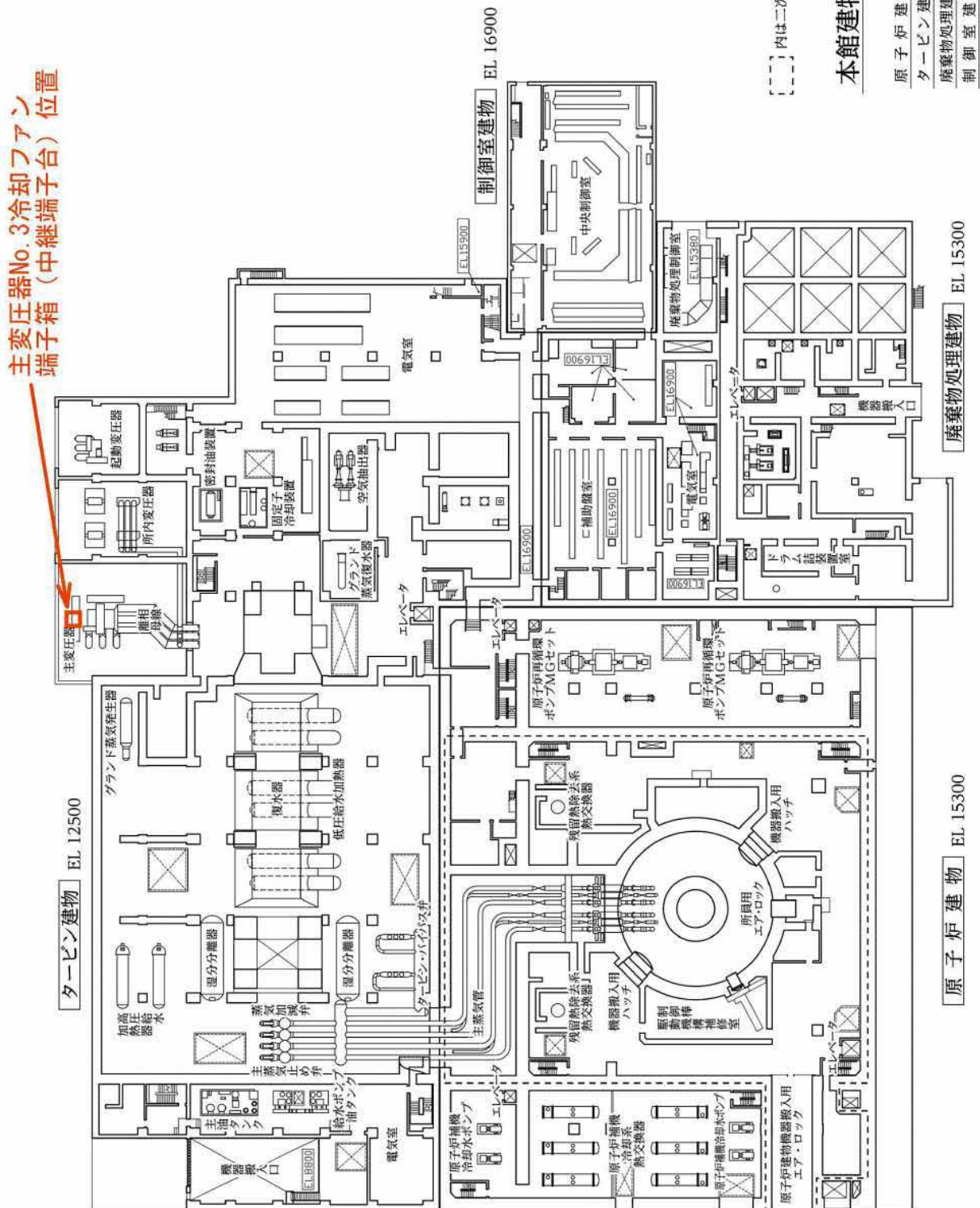
- （１）火災発生場所
- （２）島根原子力発電所２号機主変圧器冷却ファン中継端子台における火災について
（２０２６年２月７日：プレス文書）
- （３）サーマルリレー調査報告書（メーカー資料）
- （４）端子箱天板の腐食孔状況
- （５）水分の流入経路イメージ
- （６）松江市消防本部からの原因回答文書
- （７）標準工事仕様書（再発防止対策）
- （８）水平展開フロー

以 上



第2図 発電所一般配置図

第6図 建物平面図 (その4)



枠囲みの内容はメーカー機密に係る事項のため公開できません。



主変圧器No.3冷却ファン
端子箱（中継端子台）位置

Press Release



2026年2月7日
中国電力株式会社

島根原子力発電所 2号機主変圧器冷却ファン中継端子台における火災について

本日 20 時 25 分頃、島根原子力発電所屋外（放射線管理区域外）に設置している 2号機主変圧器※¹ 冷却ファン中継端子台※²にある端子接続部に焦げ跡があることを当社社員が確認し、20 時 38 分に消防署へ通報しました。

その後、消防署による現地確認が行われ、22 時 05 分に、火災と判断されました。

2号機主変圧器の冷却ファンは複数台設置しており、現在は当該火災の影響により 1 台が使用不可となっていますが、その他の冷却ファンが稼働していることから、主変圧器の機能に影響はなく、2号機は運転を継続しています。

なお、この火災による負傷者はありません。また、放射能による外部への影響はありません。

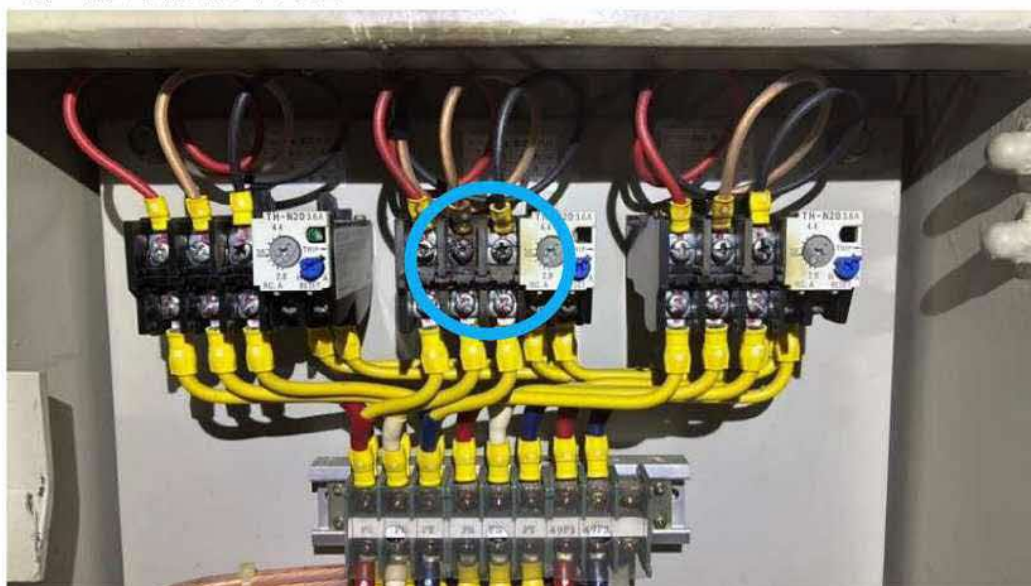
原因は、現在調査中です。

※1 2号機で発電した電気の電圧を送電電圧に昇圧する設備

※2 主変圧器を冷却するファンに流れる電流が過大となった場合に、電流を止めて保護する設備の端子台

以 上

【参考】当該中継端子台写真



1. 概要

【概要】

サーマルリレー(TH-N20)の火災認定に伴う、製品調査結果のご報告をいたします。

【発生場所】

中国電力島根原子力発電所 2号機

【発生日】

2026年2月7日

【発生状況】

20時05分 「主変圧器」警報(2-907)発報および「分岐 NFB」トリップ

20時14分 当該 NFB「切」

20時24分 「No.4 冷却ファン」起動

20時25分 冷却ファン下部ボックス内で焦げ跡および臭気を確認

【鑑識立会調査日時】

2026年3月6日(金) 10:00～14:00

【調査場所】

松江市北消防署 北部分署

【立会者】

松江市北消防署

松江市北消防署

中国電力㈱



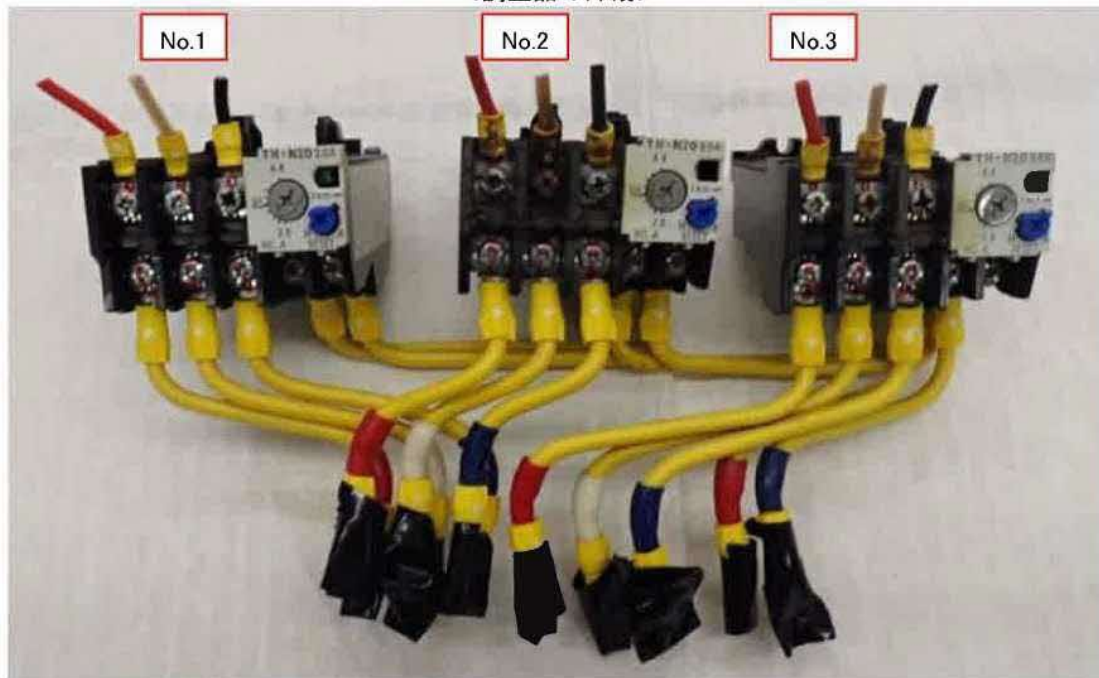
報告書番号:	ページ:
	2/12

枠囲みの内容は機密に係る事項のため公開できません。

2. 調査品

製品名称	製品形名	識別番号	ロット番号(製造年月)	台数
サーマルリレー	TH-N20 4.4A	No.1	06.1(2006 年 1 月)	3 台
		No.2	06.1(2006 年 1 月)	
		No.3	06.1(2006 年 1 月)	

<調査品の外観>



3. 調査結果概要

No.2 サーマルリレー負荷側端子部周辺に塩分を含む水分が付着したことで、トラッキング現象が起き、短絡に至ったものと推測します。



報告書番号:	ページ:
	3/12

枠囲みの内容は機密に係る事項のため公開できません。

4. 調査結果

4.1 分解前調査【写真 1～写真 3 参照】

- ①No.1:L3 ねじ頭に煤の付着が認められました。
- ②No.2:トリップが認められました。
- ③No.2:L2 のねじに発錆および溶融、L1、L3 のねじに溶融が認められました。
- ④No.2:L1、L2、L3 の端子および周辺の樹脂に溶融および錆の付着が認められました。
- ⑤No.2:L1、L2、L3 接続電線に錆の付着が認められました。
- ⑥No.3:トリップが認められました。
- ⑦No.3:L2 のねじに過熱変色、L3 のねじに溶融が認められました。
- ⑧No.3:L2 接続電線に過熱変色が認められました。
- ⑨No.3:ケース上面に錆等異物の付着が認められました。

上面側(取付時)



底面側(取付時)



写真 1 外観(全体)



報告書番号:

ページ:

4/12

枠囲みの内容は機密に係る事項のため公開できません。

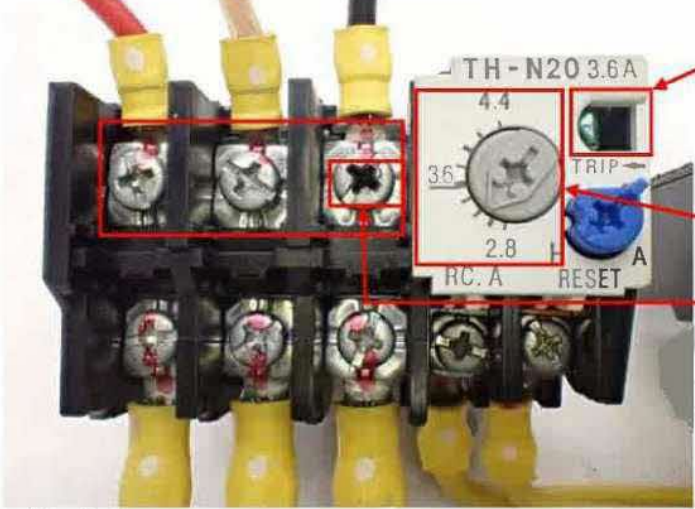
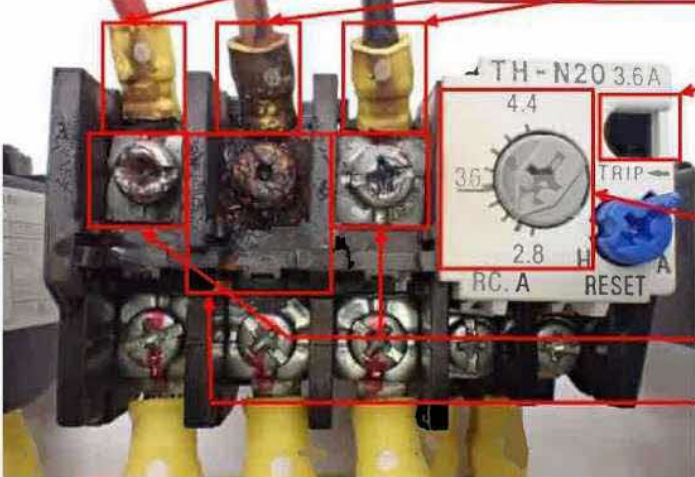
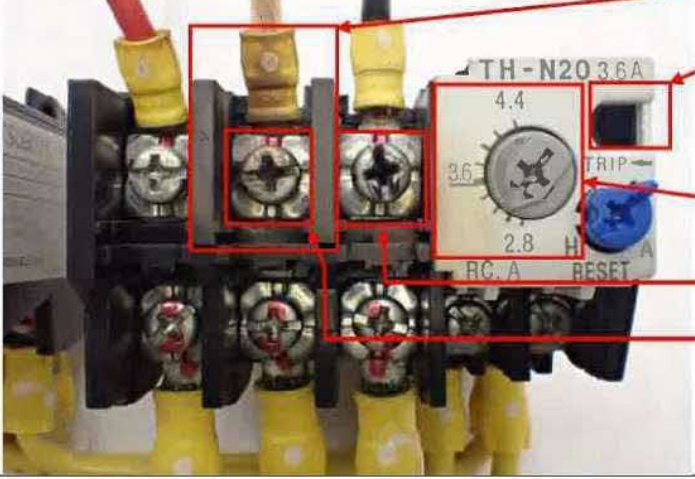
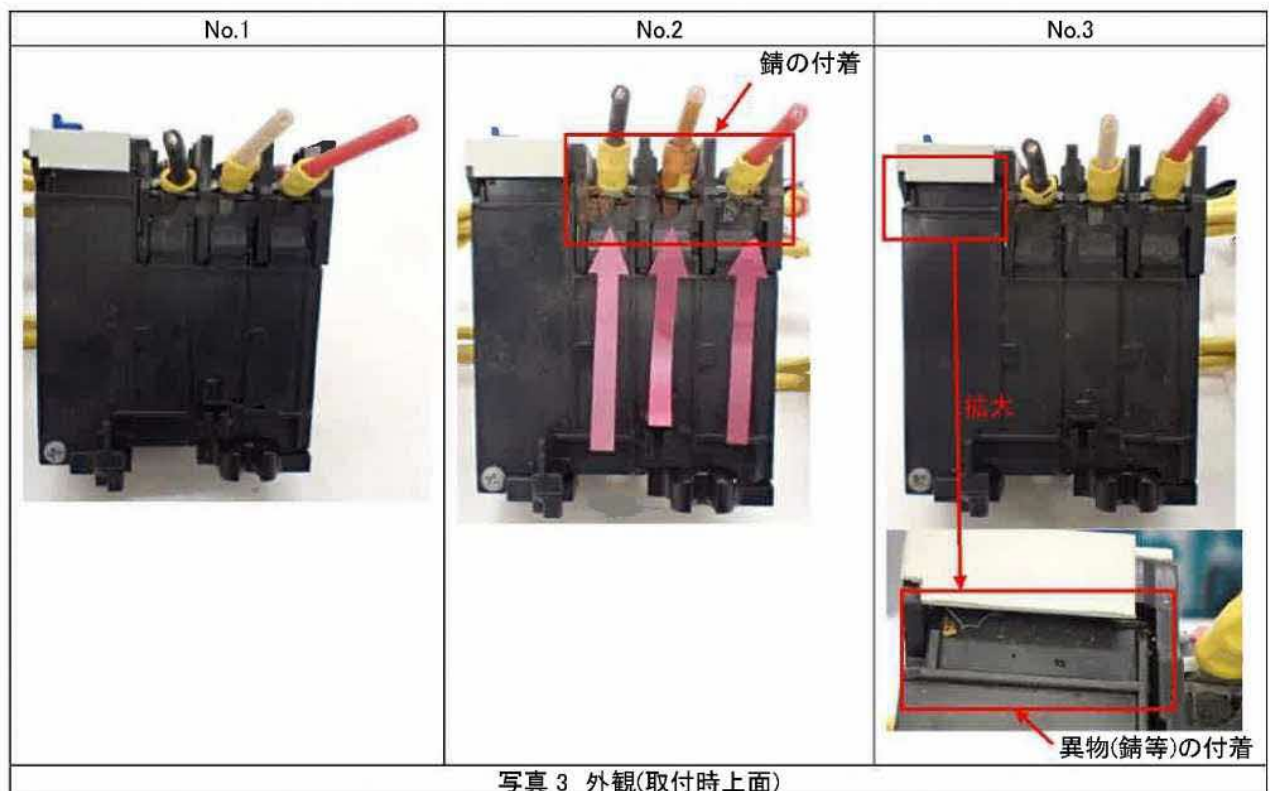
No.1	端子ねじ: L1 L2 L3  端子ねじ: T1 T2 T3	トリップなし 調整つまみ(3.1A 付近) 煤
No.2		過熱変色: L1、L3 過熱変色、錆の付着: L2 トリップあり 調整つまみ(3.1A 付近) 溶融 発錆、溶融
No.3		過熱変色 トリップあり 調整つまみ(3.1A 付近) 溶融 過熱変色

写真 2 外観(取付時正面)





4.2 動作・特性確認

(1) 絶縁抵抗測定

主回路端子間の絶縁抵抗を測定したところ、No.2 L1-L2 間において基準値以下が認められました。また、L1-L3、L2-L3 においても、No.1、No.3 と比較し絶縁抵抗値の低下が認められました。

基準値		抵抗(Ω)		
		5M 以上		
		L1-L2	L1-L3	L2-L3
調査品	No.1	∞	∞	∞
	No.2	0	75M	100M
	No.3	∞	∞	∞

※測定器: 絶縁抵抗計(500V 印加)

(2) リセット動作

手動操作にてトリップ・リセット操作を確認しましたが、No.1～No.3 いずれも動作部品(表示レバー、リセットバー)に引っ掛かり等の異常は認められませんでした。

(3) 抵抗測定

主回路端子間の導通および補助接点の接触抵抗を測定したところ、No.2 の L1-T1 に導通異常が認められました。

基準値		抵抗(Ω)				
		導通あること			100 以下	
		L1-T1	L2-T2	L3-T3	95-96(a)	97-98(b)
調査品	No.1	0.10	0.00	0.11	0.07	0.20
	No.2	∞	0.00	0.13	18.5	0.11
	No.3	0.11	0.00	0.10	0.06	65.4

※測定器: デジタルマルチメータ



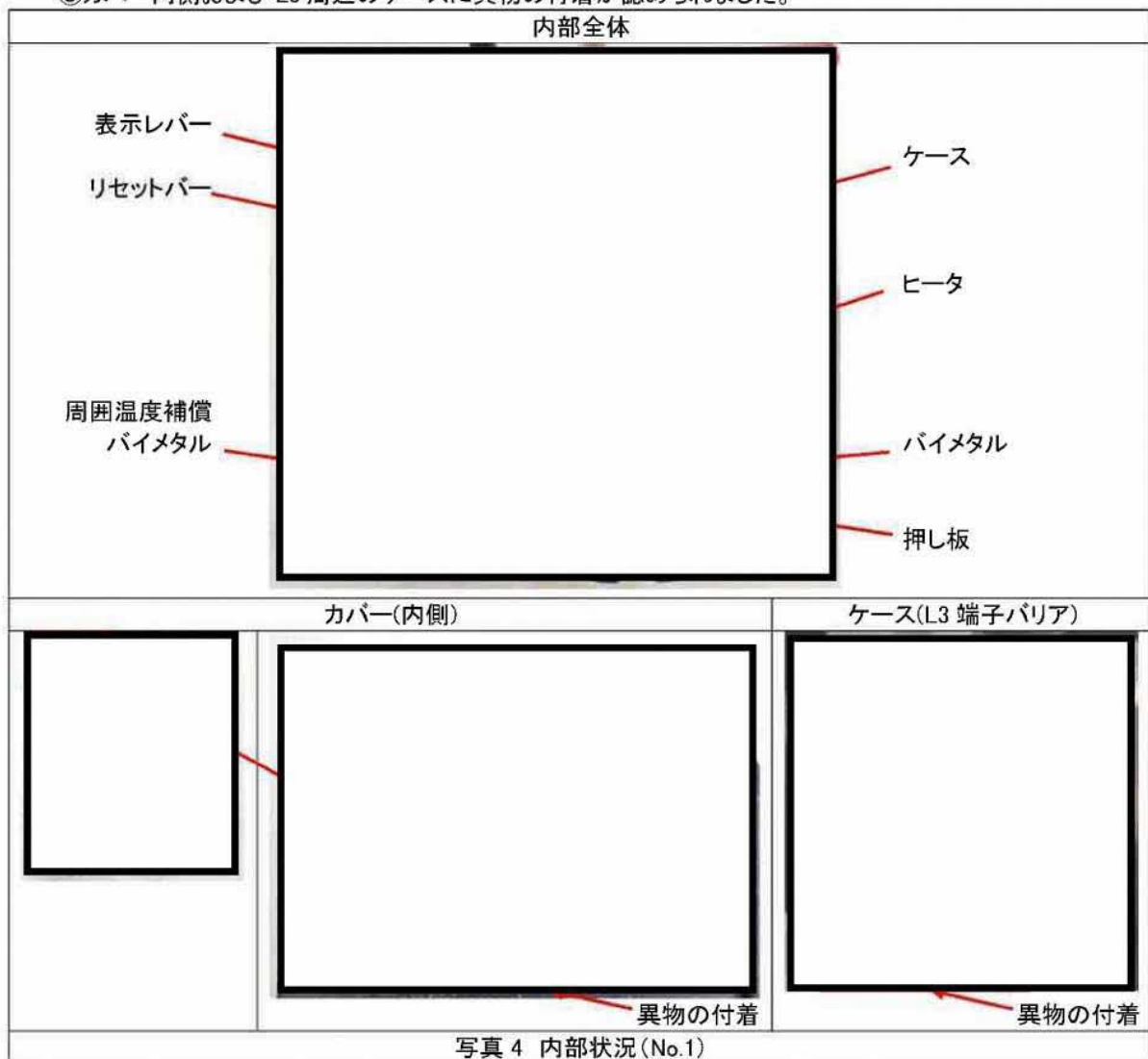
報告書番号:	ページ:
	6/12

枠囲みの内容は機密に係る事項のため公開できません。

4.3 分解調査

(1) No.1 【写真 4 参照】

- ① 接点機構部およびヒータ機構部において、組立状態に異常は認められませんでした。
- ② ヒータに過熱痕(変色、溶融等)は認められませんでした。
- ③ カバー内側および L3 周辺のケースに異物の付着が認められました。

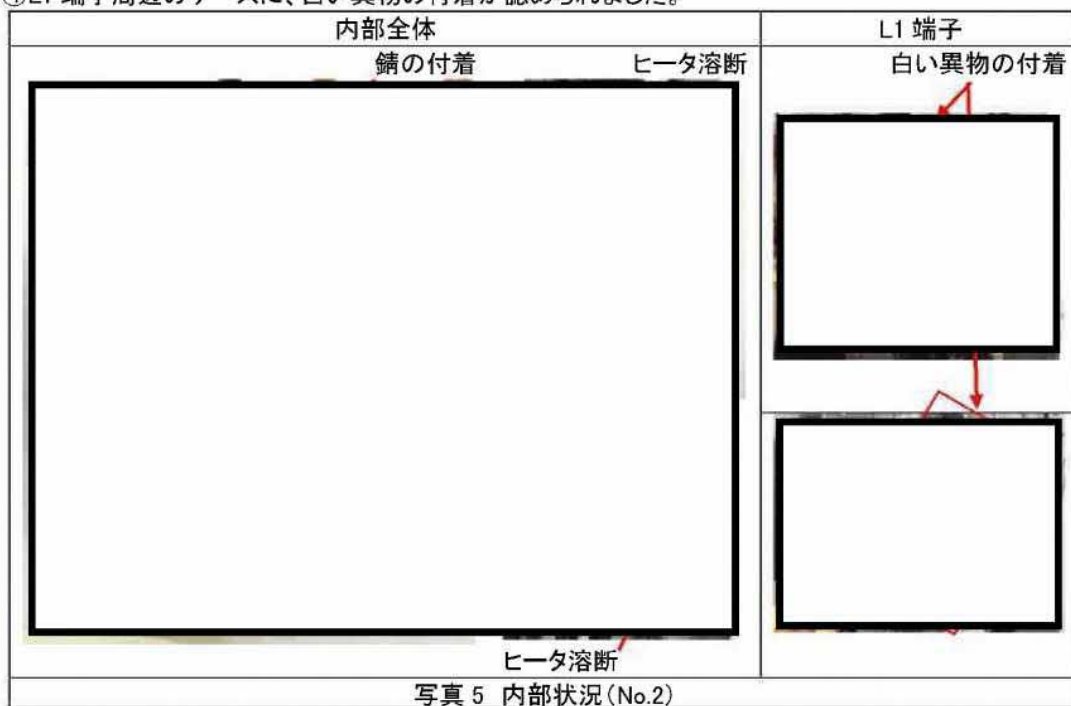


報告書番号: [空の黒枠]	ページ: 7/12
------------------	--------------

枠囲みの内容は機密に係る事項のため公開できません。

(2)No.2 【写真 5 参照】

- ①接点機構部およびヒータ機構部において、組立状態に異常は認められませんでした。
- ②L1-T1 ヒータに溶断が認められました。
- ③L1、L2、L3 端子および周辺のケースに錆の付着が認められました。
- ④L1 端子周辺のケースに、白い異物の付着が認められました。



(3)No.3 【写真 6 参照】

- ①接点機構部およびヒータ機構部において、組立状態に異常は認められませんでした。
- ②L3-T3 ヒータおよびバイメタルに過熱変色が認められました。
- ③L3 端子周辺のケースに、錆の付着が認められました。



報告書番号:	ページ:
	8/12

枠囲みの内容は機密に係る事項のため公開できません。

4.4 ねじの緩み有無確認結果

触診にてねじ締め付け状態を確認した結果、以下を確認しました。

No.2 L2 端子 : 損傷が激しく、ねじ取外しできず。締め付け状態確認判断不可。

上記以外の端子 : 緩みなし。

		No.1	No.2	No.3
上面側	L1	緩みなし	緩みなし	緩みなし
	L2	緩みなし	判断不可	緩みなし
	L3	緩みなし	緩みなし	緩みなし
底面側	T1	緩みなし	緩みなし	緩みなし
	T2	緩みなし	緩みなし	緩みなし
	T3	緩みなし	緩みなし	緩みなし

4.5 圧着端子の外観確認結果【写真7参照】

サーマルリレーの負荷側に接続されていた圧着端子の外観を確認したところ、白い異物および錆の付着が認められました。

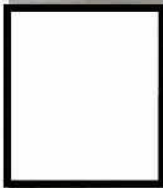
	L1	L2	L3
No.1			
No.2		取外不可	
No.3			

写真7 圧着端子(赤枠: 白い異物、水色枠: 錆)



報告書番号:	ページ:
	9/12

枠囲みの内容は機密に係る事項のため公開できません。

4.6 成分分析

No.2 の L1 端子ねじおよび接続されていた圧着端子に付着した白い異物(写真 8 参照)について、成分を分析したところ、海水に含まれる成分(Na、S、Cl)を検出しました。なお、圧着端子に含まれない成分(Fe)が検出されていることを確認しました。

■異物採取方法

カーボンテープ採取

■試験条件

①SEM/EDX 分析(元素分析)⇒無機物の分析(元素を検出)

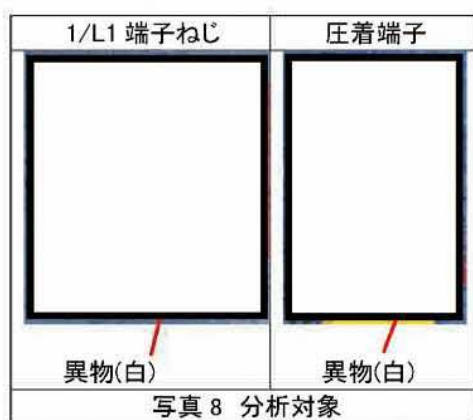
・観察方式:二次電子

②FT-IR 分析⇒有機物の分析(赤外線の吸収スペクトルで物質の一致率を確認)

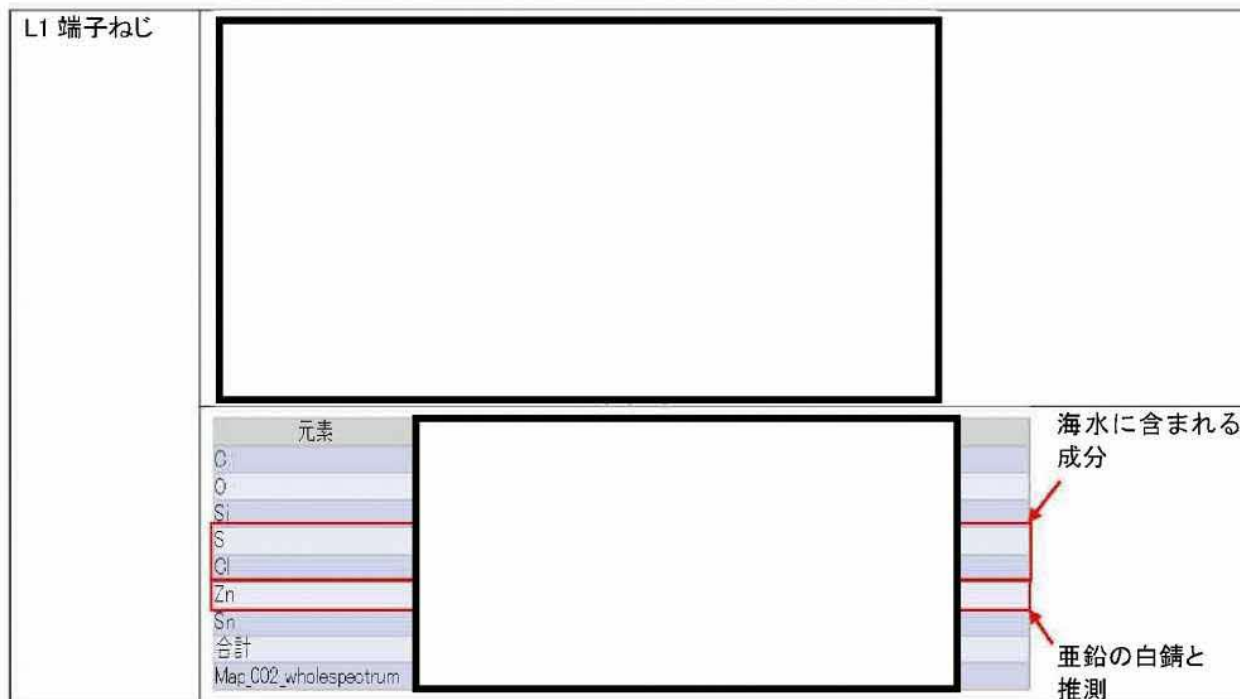
※FT-IR 分析は異物の完全一致を確認する手法ではなく、

分析装置に保有しているスペクトルと観測されたスペクトルの一致率を評価する手法

・測定方式:顕微透過



分析箇所	分析方法	結果
L1 端子ねじ	SEM/EDX	C、O、Si、S、Cl、Zn、Sn
	FT-IR	有機物の特定不可
圧着端子	SEM/EDX	C、O、Na、S、Cl、Ca、Fe、Cu、Sn
	FT-IR	炭酸塩



報告書番号:	ページ:
	10/12

枠囲みの内容は機密に係る事項のため公開できません。

圧着端子	<table> <tr> <th>元素</th><th></th></tr> <tr><td>C</td><td></td></tr> <tr><td>O</td><td></td></tr> <tr><td>Na</td><td></td></tr> <tr><td>S</td><td></td></tr> <tr><td>Cl</td><td></td></tr> <tr><td>Ca</td><td></td></tr> <tr><td>Fe</td><td></td></tr> <tr><td>Cu</td><td></td></tr> <tr><td>Sn</td><td></td></tr> <tr><td>合計</td><td></td></tr> <tr><td>Map_001_wholespectrum</td><td></td></tr> </table> 海水に含まれる成分 海水から残留した炭酸塩が検出されたと推測	元素		C		O		Na		S		Cl		Ca		Fe		Cu		Sn		合計		Map_001_wholespectrum	
元素																									
C																									
O																									
Na																									
S																									
Cl																									
Ca																									
Fe																									
Cu																									
Sn																									
合計																									
Map_001_wholespectrum																									



5. 当社見解

4 項調査結果より、No.2 サーマルリレーの負荷側端子部(L1-L2 間)に塩分を含んだ水分が付着したことで、相間の経路に電路が形成された状況となり、AC440V 印加に伴いトラッキング現象が発生し、短絡が発生したものと推測します。なお、サーマルリレーのヒータに溶断が認められたことから、短絡発生時、サーマルリレーの端子には定格電流最大値の 13 倍以上の電流が通電されたものと推測します。

事象発生当時、雪や雨が降っていたことや、盤内のサーマルリレー設置箇所上部に錆の付着があったとの情報から、上部より配線された電線を通じて雨水が端子部周辺に付着したものと推測します。

また、当該盤の設置場所は海に近い場所であることから、雨水に海水等の塩分が含まれていたものと推測します。

分解調査終了後、松江市北消防署様にて検証試験として、調査品の端子間に塩水を散布し、主回路 L1-L2 間に AC100V を印加したところ、トラッキング現象が発生することを確認しました。【写真 9 参照】

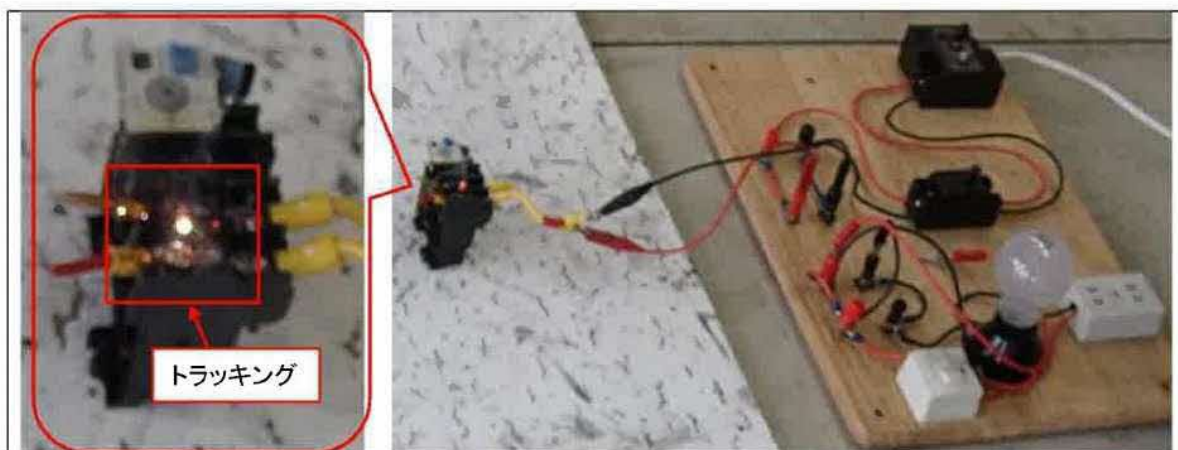


写真 9 塩水散布によるトラッキング確認試験

以上



報告書番号:	ページ:
	12/12

枠囲みの内容は機密に係る事項のため公開できません。

端子箱天板の腐食孔状況

通常の状態



ファン取外状態



端子箱天板の状況 1



端子箱天板の状況 2



補修材による修理状況



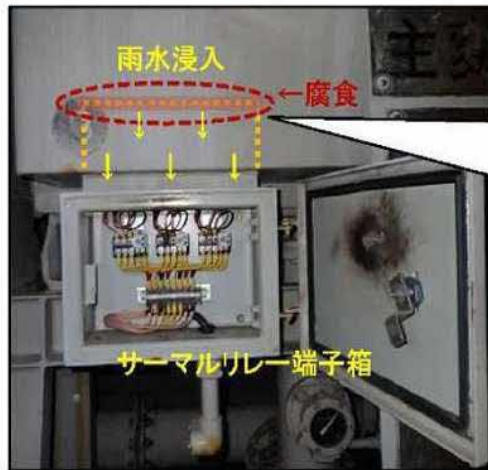


写真. 1



写真. 2



写真. 3

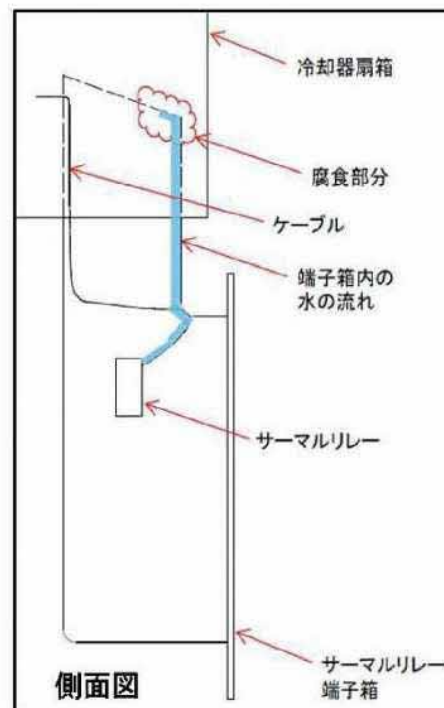


図. 1



写真. 4

塩分を含む水分が付着し、R相とS相との間で電路が形成された状態となり、トラッキング現象が発生

松 消 警 第 22 号

令和 8 年 6 月 12 日

中国電力株式会社 島根原子力発電所

所長 阿川 一美 様

松江市消防本部

消防長 足立 博之



火災事案の確認について（回答）

令和 8 年 6 月 5 日付けで依頼のありました事項につきまして次のとおり回答いたします。

出火原因

出火原因は、島根原子力発電所 2 号機屋外主変圧器の冷却ファン中継端子台上蓋の微小の穴から、海水を含む水分が侵入し、サーマルリレーの端子周辺に付着して、トラッキングが発生し火災に至ったものと推定する。

松江市消防本部

警防課

災害対策係

電話 0852-32-9114



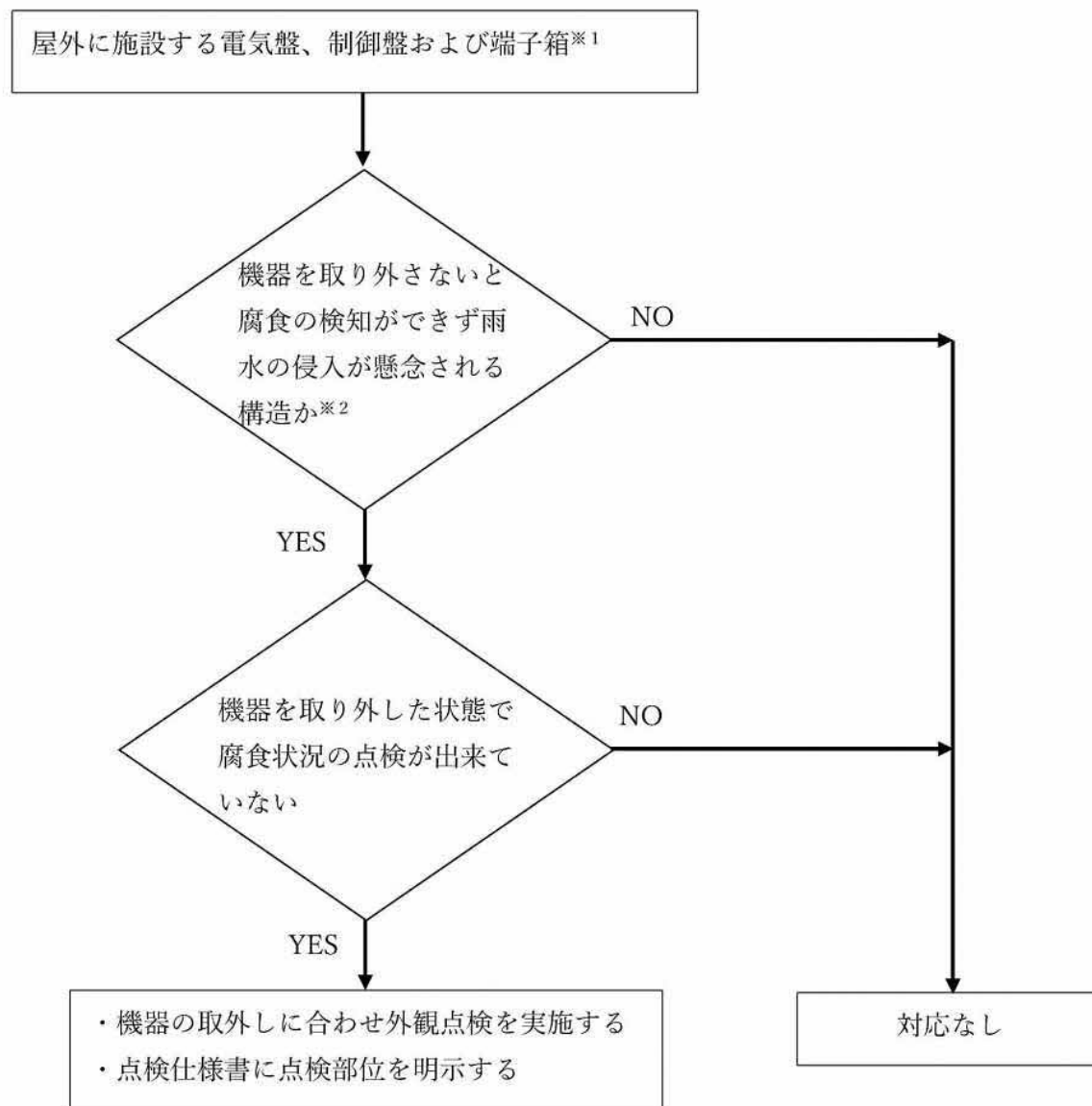
標準工事仕様書

添付資料 (7)

大分類	2E)変圧器	担当課	電気
中分類	主変圧器	バージョン	0002
小分類		承認日	2021/04/14

点検部位	点検内容	作業内容	保全タスク	定事検	備考
変圧器本体	汚損、損傷の有無	清掃・目視点検	外観点検		
	漏洩の有無	清掃・目視点検	外観点検		
	腐食の有無	局部塗装	外観点検		
放圧装置(避圧弁)	汚損、腐食の有無	清掃・目視点検	外観点検		
	放圧板異常の有無	目視点検	外観点検		
	トリップ回路の導通の確認	導通試験	特性試験(導通試験)		
	バックシン取替、コーキング処理	バックシン取替・コーキング処理	消耗品取替		
衝撃油圧継電器	汚損、損傷の有無	清掃・目視点検	外観点検		
	トリップ回路の導通の確認	導通試験	特性試験(導通試験)		
	バックシン取替、コーキング処理	バックシン取替・コーキング処理	消耗品取替		
気体検出器	ガスの蓄積の有無	目視点検	外観点検		
	汚損、損傷の有無	清掃・目視点検	外観点検		
	警報回路の導通の確認	導通試験	特性試験(導通試験)		
ダイヤル温度計	指示値の良否	校正試験	特性試験(校正・調整)		
	警報接点の良否	動作試験	機能・性能試験		
	乾燥剤の変色の有無	目視点検	外観点検		
	漏油の有無	清掃・目視点検	外観点検		
無電圧タップ切換器 ラジエータ	汚損、損傷の有無	清掃・目視点検	外観点検		
	漏油の有無	清掃・目視点検	外観点検		
	ラジエータファンのじん埃の有無	水洗	外観点検		
	冷却ファンサーマルリレー端子箱内部の腐食、損傷の有無	清掃・目視点検	外観点検		
	冷却ファンサーマルリレー端子箱天板付近の腐食、損傷の有無	清掃・目視点検	外観点検		天板は冷却ファンを取り外して確認
冷却ファン	汚損、損傷の有無	清掃・目視点検	外観点検		
	異音、振動の有無	聴音点検	機能・性能試験		
油流計	汚損、損傷の有無	清掃・目視点検	外観点検		
	指針の動きの良否	目視点検	外観点検		
	警報回路の動作の確認	動作試験	機能・性能試験		
油ポンプ	漏油の有無	清掃・目視点検	外観点検		
	異音、振動の有無	聴音点検	機能・性能試験		
	異音、振動の有無	触手点検	機能・性能試験		
コンサベータ	汚損、損傷の有無	清掃・目視点検	外観点検		
	漏油の有無	清掃・目視点検	外観点検		
油面計	指示値の確認	清掃・目視点検	外観点検		
	警報回路の導通の確認	導通試験	特性試験(導通試験)		
吸湿呼吸器	汚損、損傷の有無	清掃・目視点検	外観点検		
	吸湿剤の変色の有無	シリカゲル取替	消耗品取替		
中性点ブッシング	がいの汚損、損傷の有無	清掃・目視点検	外観点検		
	取付ボルトの締付け状況確認	増締め	外観点検		
	外部端子ボルトの締付け状況確認	トルク測定	外観点検		
	油面の良否	目視点検	外観点検		
接地線	接地線の取付の良否	導通試験	特性試験(導通試験)		
	接地線の取付の良否	端子増締め	外観点検		
集合端子箱	端子の締付け状況確認	増締め	外観点検		
	機内配線の絶縁抵抗の確認	絶縁抵抗測定	特性試験(絶縁抵抗測定)		
巻線	一次巻線、二次巻線の絶縁抵抗の確認	絶縁抵抗測定	特性試験(絶縁抵抗測定)		
冷却制御盤	盤の汚損、損傷の有無	清掃・目視点検	外観点検		
	腐食の有無	清掃・目視点検	外観点検		
	盤取付器具類の損傷の有無	清掃・目視点検	外観点検		
	端子の締付け状況確認	増締め	外観点検		
	警報回路の動作の確認	シーケンステスト	機能・性能試験		
	盤内配線の損傷の有無	清掃・目視点検	外観点検		
	盤内配線の絶縁抵抗の確認	絶縁抵抗測定	特性試験(絶縁抵抗測定)		
	スペースヒータの断線の有無	導通試験	特性試験(導通試験)		
	スペースヒータの絶縁抵抗の確認	絶縁抵抗測定	特性試験(絶縁抵抗測定)		
全体	各部の傷、損傷の有無	清掃・目視点検	開放点検		
	各部の割れ、変形の有無	清掃・目視点検	開放点検		
	各部の異常の有無	清掃・目視点検	開放点検		

水平展開フロー



※1：屋内に施設する電気盤、制御盤および端子箱は雨水に直接さらされる環境でなく、外観点検や貫通部処理により、雨水の影響を受けないよう維持管理しており、水平展開の対象外とする。

※2：これまでの外観点検や貫通部処理により、雨水の影響を受けないよう維持管理していても、今回の事象と同様に構造上、機器を取り外さないと外観点検が出来ず、腐食孔が生じる可能性を否定できないものについて抽出する。